

コミュニティ・スクール通信



東連携型小中一貫校
学校運営協議会



第4回学校運営協議会を開催しました！

地域の皆様には、日頃より東連携型小中一貫校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。12月2日(月)～6日(金)に東中校区4校で行った「地域でふれあうあいさつ運動」においては、区長会、民児協、青少推、更生保護女性会、PTA、学校職員の皆様にご参加いただき、大変お世話になりました。「おはようございます!」の元気なあいさつで、子どもも大人も笑顔で交流し、冬の寒さを忘れる心あたたまる時間となりました。

さて、第4回学校運営協議会を10月30日(水)、藤岡第一小学校にて開催しました。今回は、会議の前に東人権サミットを見学しました。4校の児童会・生徒会の子どもたちがしっかりと意見を述べて、話し合いができていたことに感心しました。



東人権サミットの様子

令和6年度 東連携型小中一貫校人権サミット
テーマ
「EAST子育てアクションプラン2025年度版 子どもの取組 豊かな心」を考えよう

今回の熟議内容

(1) 学校評価について(12月実施)

児童生徒(小4～中3)、保護者、教職員を対象とした学校評価アンケートの質問項目について話し合いました。学校評価の結果については、2月にお知らせします。

(2) いじめ問題解決に向けた教育懇談会について(11月29日実施)

昨年度から、東連携型小中一貫校の4校PTAとの共催で行っています。今年度も多くの保護者の皆様、地域の各関係団体の皆様、学校職員の皆様に参加いただきました。また、今年度は藤岡第一小児童会本部役員の子どもたちが「いじめ問題解決に向けた子どもの取組」について発表してくれました。子どもたちのすばらしい発表を受けて、「子どもたちのために、いじめを許さない心豊かな地域をつくろう!」という大人の気運が一層高まり、『EAST 子育てアクションプラン』の「豊かな心」の項目について振り返り、改善点を話し合いました。話し合われた内容につきましては、次号でお知らせします。



読書ってたのしい! ～その4「読書で感じる幸福感」～

読書をする人は幸福度が高く生活が充実しているというデータがあります。読書をしていると脳内ではセロトニンという物質が出ているそうです。それはネガティブな思考から解放され心を平穏にする効果があります。深呼吸もまた同様に、セロトニンの生成があるそうです。

読書の環境が話題になることがあります。“環境づくり”から始める場合、読書をするまでには多くの準備を必要とすることがあります。もちろん快適な場所でじっくりと読書をするのも大切ですが、忙しい暮らしの中、まずは気軽に深呼吸をする感覚で隙間時間を活用し読書をしてはいかがでしょうか。